

BERCニュース

唯一の経営倫理・CSR専門紙

BERCが創立15周年

記念イベント 特別シンポジウムや季刊誌特集

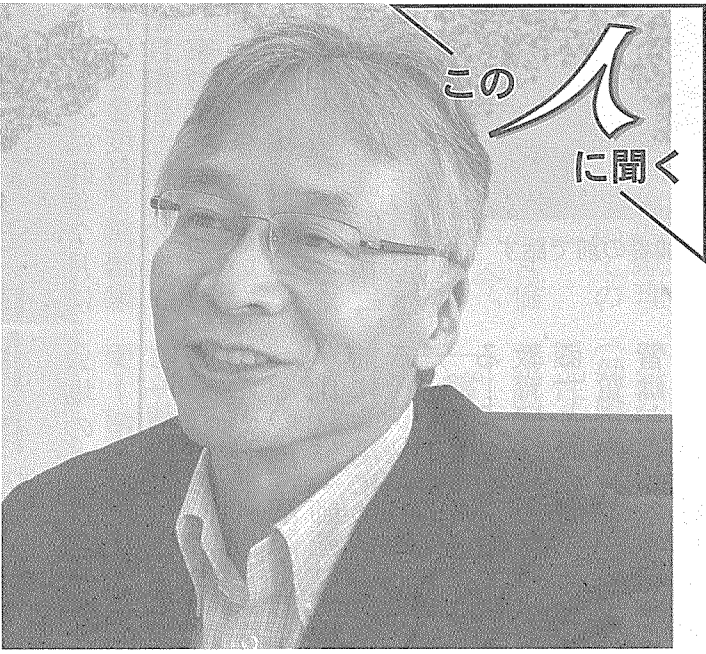
経営倫理実践研究センター(BERC)が今年創立15周年を迎えた。BERCは平成9年11月発足。富士ゼロックス、資生堂、東京電力、東京ガス、トヨタ、イトーヨーカ堂、パナソニック、日本電気、横河電機の9社で設立発起人会が開かれた。平成21年に一般社団法人となり現在、加盟企業は112社、経営倫理の研究・実践研究機関として発展している。

新旧理事長による対談も

BERCでは創立15周年記念事業として季刊誌「経営倫理」、専門紙(BERCニュース)やホームページなどでの多様な情報発信のほか、記念特別シンポジウム等を企画している。今回、特別企画として、前理事長の福原義春氏(資生堂名誉会長)と、昨年、理事長を引き継いだ鳥原光憲氏(東京ガス会長)による「新旧理事長対談」を行った。

鳥原氏は「始まりは、水谷(雅一)先生が経営倫理の実践研究活動の必要性を、経済団体を回って説いたことから。どの団体も、必要性は認めるが主体的に動こうとしない。経済同友会の役員だった小林陽太郎さんに『それなら、あなたが運動したら』と言われて水谷先生は決心された。『ついでに小林さん、一緒に』と頼まれた小林さんが『僕は忙しいから、適任者を紹介する』というので、私が水谷先生とコンビを組むことになった。創設当時、先生は無名だったが、どこに行っても熱く語るのので、みんな引き込まれた」と振り返る。鳥原氏はこの1年に「東日本大震災」と原発事故に対応する活動は適切だったと思う。また急激な円高で工場の海外移転が加速、経営トップが関与する企業不祥事が相次ぐ、といった状況の中、グローバルな視点を持ち、社会の公器としての企業行動が一層強く求められるようになった。そういう経済・社会・環境の変化に合わせて、BERCが中期にどういった活動をすすめるか、というビジョンをまとめたのも、この1年の活動の中で大きかった」と語る。また鳥原氏は「中期ビジョンに掲げた『ECG (Ethics Compliance Governance Risk Management)を重視する価値ある企業の実現を目指す』という目標に合わせた実践プログラム(充実が必要)などと述べた。

BERCインタビュー



この人に聞く

まつお・ときお
青山学院大学理工学部卒業。1980年、旭硝子入社。2004年同社エンジニアリングセンター開発プロジェクト統括グループリーダー、06年同センター長、10年から現職。

技術部門の経験が長かったそうですが、なぜCSR室を任せられたとお考えですか。

13年以上、工場設備等の面倒を見てきましたので、現場レベルのことが分かっていて、また工場建設などを通じて、多様な国の従業員と付き合ってきた。さらに、CSR室の仕事の中でオペレーションに一番近いのが環境、労働安全衛生、品質管理で、その部分には精通している、ということなどが理由ではないかと思えます。

新しい視点でのCSRが求められているのは確かです。どのよ

うな考え方で取り組んでいますか。

AGCグループにとってCSRとは何か、と室内で議論しています。「社会環境が変化

する中、いろいろな局面で、会社がどういう立ち位置でステークホルダーに発言していくのか。そのためにできるだけ高くアンテナを

張りながら考え、行動する。そのベースになるのが企業倫理」という理解で仕事をしています。「立ち位置」を浸透さ

新しい視点のCSRを

旭硝子 執行役員 CSR室長 松尾時雄さん

強烈な現場意識で取り組む

この対談の詳しい内容は今秋発行予定の「経営倫理」第68号に掲載予定。

51号の紙面

- 2面「落語家に学ぶ話し方のコツ」(6月度BERC監査部会)「5・6月度BERC関西部会」(日仏のワークライフをテーマにCSR部会)
- 3面「ACBEE法人会員を新設」(第16期経営倫理士講座、前期終了)「第4面」BERC総会、12年度事業計画などを承認」(写真、JABES、総会・研究発表大会を開催「ちよっぴり薬立つクスリの話」)
- 5面「証券業界、「増資インサイダー」次々発覚」(ツアーバス事故で緊急対策)「広報力」(潮流)
- 6面「荏原グループ、国際子ども絵画展を開催」(キヤノン、文化財保存に技術生かす)「社会貢献活動の現場から」(読んだら老けないコラム)
- 7面「アップル、中国の受託工場で騒乱」(印刷事業所で胆管がん多発)「企業不祥事等の概要」(ニュースの断面)
- 8面「回顧随想・福原義春」(経営の心)を想う」(地球交差点)

する中、いろいろな局面で、会社がどういう立ち位置でステークホルダーに発言していくのか。そのためにできるだけ高くアンテナを張

りながら考え、行動する。そのベースになるのが企業倫理」という理解で仕事をしています。「立ち位置」を浸透さ

す。グローバルでみると昨年は81%のカバ

ラを定めています。

海外での取り組み

で苦労されることは、

コンプライアンスに

どんなことですか。

コンプライアンス

で重視していることは

です。

コンプライアンス

と昨年は81%のカバ

ラを定めています。

海外での取り組み

で苦労されることは、

コンプライアンスに

どんなことですか。

コンプライアンス

で重視していることは

です。

コンプライアンス

と昨年は81%のカバ

ラを定めています。

海外での取り組み

で苦労されることは、

コンプライアンスに

どんなことですか。

コンプライアンス

で重視していることは

です。

コンプライアンス

と昨年は81%のカバ

ラを定めています。

海外での取り組み

で苦労されることは、

コンプライアンスに

どんなことですか。

コンプライアンス

で重視していることは

です。

コンプライアンス

と昨年は81%のカバ

ラを定めています。

海外での取り組み

で苦労されることは、

コンプライアンスに

どんなことですか。

コンプライアンス

で重視していることは

です。

インタビュー・千賀瑛一

(BERCニュース編集長)

落語家に学ぶ話し方のコツ

萬窓師匠招き研修研究会

「経営倫理の教育研修研究会」(関東学院大学教授・小山巖也氏担当)で6月「落語家から聞く話し方のコツ」をテーマに、落語家の三遊亭萬窓師匠を講師に招いた。



落語を披露し、聴き手を引き込む技を参加者の前で話す三遊亭萬窓師匠 = BERGセミナー室

「経営倫理の教育研修研究会」(関東学院大学教授・小山巖也氏担当)で6月「落語家から聞く話し方のコツ」をテーマに、落語家の三遊亭萬窓師匠を講師に招いた。講師は「師匠は、事前に会場について調べて、客の興味を呼び起こす内容を仕込んでいく。こういうところは、教育研修にも参考になる」と述べた。

その後、解説をした小山氏は「師匠は、事前に会場について調べて、客の興味を呼び起こす内容を仕込んでいく。こういうところは、教育研修にも参考になる」と述べた。

「視覚的には腰から上の部分しか見せないが、しぐさのポイント」という質問には「しぐさを付けなくて話している途中で、お茶を飲んだり、といった動きを付けると、引き立つ。しぐさを付けることで、その人物の様子が想像しやすくなる。その効果を高めるため、無駄な動きはしない方がいい」とアドバイスした。

師匠は、箱田順哉氏(あらた監査法人代表社員・公認会計士)で、「海外グループ会社の内部監査の留意点」と海外監査の留意点について、同氏の講演が行われた。同氏の講演部会で、13日(水)に東京・南青山会館で開かれた。講

師は、箱田順哉氏(あらた監査法人代表社員・公認会計士)で、「海外グループ会社の内部監査の留意点」と海外監査の留意点について、同氏の講演が行われた。同氏の講演部会で、13日(水)に東京・南青山会館で開かれた。講

師は、箱田順哉氏(あらた監査法人代表社員・公認会計士)で、「海外グループ会社の内部監査の留意点」と海外監査の留意点について、同氏の講演が行われた。同氏の講演部会で、13日(水)に東京・南青山会館で開かれた。講

師は、箱田順哉氏(あらた監査法人代表社員・公認会計士)で、「海外グループ会社の内部監査の留意点」と海外監査の留意点について、同氏の講演が行われた。同氏の講演部会で、13日(水)に東京・南青山会館で開かれた。講

師は、箱田順哉氏(あらた監査法人代表社員・公認会計士)で、「海外グループ会社の内部監査の留意点」と海外監査の留意点について、同氏の講演が行われた。同氏の講演部会で、13日(水)に東京・南青山会館で開かれた。講

BERG 関西部会

5月度BERG関西部会が5月11日、大阪府商工会館で開かれた。

前半は講義の部で、テーマは「公益通報者保護制度と企業の社内通報制度のあり方」。講師はBERG主任研究員・星野邦夫氏。

星野氏は、数社によるヘルプラインの相談・通報の具体的な内容についても紹介。各社ともパワハラや職場の人間関係に関するものが多かった。

星野氏は、数社によるヘルプラインの相談・通報の具体的な内容についても紹介。各社ともパワハラや職場の人間関係に関するものが多かった。

星野氏は、数社によるヘルプラインの相談・通報の具体的な内容についても紹介。各社ともパワハラや職場の人間関係に関するものが多かった。

星野氏は、数社によるヘルプラインの相談・通報の具体的な内容についても紹介。各社ともパワハラや職場の人間関係に関するものが多かった。

星野氏は、数社によるヘルプラインの相談・通報の具体的な内容についても紹介。各社ともパワハラや職場の人間関係に関するものが多かった。

星野氏は、数社によるヘルプラインの相談・通報の具体的な内容についても紹介。各社ともパワハラや職場の人間関係に関するものが多かった。

日仏のワークライフ テーマに課題を指摘

ドラ・トーザン氏が講演

CSR部会

CSR部会(駿河台大学教授・水尾順一氏及び東京交通短大教授・田中宏司氏担当)は6月、国際ジャーナリストでエッセイストのドラ・トーザン氏を講師に招いた。

「日本の働く女性について」「結婚や出産を機に仕事をやめることに驚く」「女性のレベル

「日本の働く女性について」「結婚や出産を機に仕事をやめることに驚く」「女性のレベル

「日本の働く女性について」「結婚や出産を機に仕事をやめることに驚く」「女性のレベル

「日本の働く女性について」「結婚や出産を機に仕事をやめることに驚く」「女性のレベル

「日本の働く女性について」「結婚や出産を機に仕事をやめることに驚く」「女性のレベル

「日本の働く女性について」「結婚や出産を機に仕事をやめることに驚く」「女性のレベル

「日本の働く女性について」「結婚や出産を機に仕事をやめることに驚く」「女性のレベル

「日本の働く女性について」「結婚や出産を機に仕事をやめることに驚く」「女性のレベル



ドラ・トーザン氏

情報法制のゆくえテーマ

6月度BERG関西部会が6月20日、大阪府商工会館で開かれた。BERG上席研究員・高野一彦氏(関西大学教授)による講義

高野氏は、数社によるヘルプラインの相談・通報の具体的な内容についても紹介。各社ともパワハラや職場の人間関係に関するものが多かった。

高野氏は、数社によるヘルプラインの相談・通報の具体的な内容についても紹介。各社ともパワハラや職場の人間関係に関するものが多かった。

高野氏は、数社によるヘルプラインの相談・通報の具体的な内容についても紹介。各社ともパワハラや職場の人間関係に関するものが多かった。

高野氏は、数社によるヘルプラインの相談・通報の具体的な内容についても紹介。各社ともパワハラや職場の人間関係に関するものが多かった。

高野氏は、数社によるヘルプラインの相談・通報の具体的な内容についても紹介。各社ともパワハラや職場の人間関係に関するものが多かった。

高野氏は、数社によるヘルプラインの相談・通報の具体的な内容についても紹介。各社ともパワハラや職場の人間関係に関するものが多かった。

BERG活動(2012年6月~8月)

日	月	部会	時間
11日	月	ケース部会 [アドバンスコース]	15:00-17:00
12日	火	経営倫理の教育研修研究会 [内容編]	15:00-17:30
13日	水	監査部会	13:30-16:50
13日	水	ケース部会 [ベーシックコース]	14:00-17:00
14日	木	個人倫理の醸成法研究会	15:00-17:30
18日	月	経営倫理の統合マネジメント部会	15:00-17:00
19日	火	経営倫理総合部会	15:00-17:00
19日	火	失敗から学ぶ経営塾	19:00-21:00
20日	水	CSR部会	15:00-17:00
20日	水	関西部会	13:30-17:00
21日	木	パワー・ハラメント研究会	15:00-17:30
25日	月	コンプライアンス担当者の為の法令研究会	14:00-17:00
26日	火	ヘルプライン研究会	14:00-17:00
27日	水	次世代の危機管理研究会	15:00-17:00
28日	木	企業不祥事研究会	15:00-17:00
7月			
9日	月	ケース部会 [アドバンスコース]	15:00-17:00
10日	火	監査部会	13:30-16:50
10日	火	経営倫理の教育研修研究会 [内容編]	15:00-17:30
11日	水	ケース部会 [ベーシックコース]	14:00-17:00
12日	木	個人倫理の醸成法研究会	15:00-17:30
13日	金	関西部会	13:30-17:00
17日	火	経営倫理総合部会	15:00-17:00
17日	火	失敗から学ぶ経営塾	19:00-21:00
18日	水	CSR部会	15:00-17:00
19日	木	パワー・ハラメント研究会	15:00-17:30
23日	月	経営倫理の統合マネジメント部会	15:00-17:00
24日	火	海外ESG研究会	15:00-17:00
25日	水	次世代の危機管理研究会	15:00-17:00
26日	木	企業不祥事研究会	15:00-17:00
30日	月	コンプライアンス担当者の為の法令研究会	14:00-17:00
31日	火	ヘルプライン研究会	14:00-17:00
8月			
20日	月	ヘルプライン実務者研究会全体会議	15:00-17:45
29日	水	第14回時局セミナー	15:00-17:45

法人会員(5万円)を新設

新理事に ACBEE 第3回総会 池田氏

NPO法人日本経営倫理士協会第3回(平成24年度)通常総会が、6月5日に海事センタービルで開催された。

議案審議は、第3期(平成23年度)事業報告・決算報告、同監査報告、第4期(平成24年度)事業報告・予算、定款の一部変更、新役員選任(新理事、池田耕一などを審議した。第3期事業報告、決算報告の後、服部彰監事から監査結果が公正であることが報告された。また千賀専務理事から、①活動の柱である経営倫理士講座の拡充と広報強化②法人会員新設が提案された。審議の結果、いずれの議案も承認された。

●新役員
理事：池田耕一(経営倫理実践研究センター 上席研究員)

平成25年より、これまで「個人会員」に限定していたサポート体制をさらに充実、経営倫理士の諸活動をバックアップできる「法人会員」を新設した。

「法人会員」には、経営倫理士在籍の組織・団体が入会できる(経営倫理士7人までが1口)。さらに「法人会員」として1議決権が付与される。経営倫理士7人の場合、個人議決権7+法人議決権1の合計8議決権が付与される。

特典として「個人会員」と同様、「経営倫理フォーラム(機関紙)」「大型シンポジウム報告書」の配布、会員登録の発行、ACBEE主催イベント等への割引などがある。

法人会員・年会費



24年度事業計画などが承認された第3回総会

第4回 企業の危機管理 具体性あげ説明 若狭 勝氏

第4回は6月5日に「企業不正と検察」というテーマで若狭勝弁護士(前東京地検公安部長、元同特捜部副部長)が行った。

講義は、5つの価値観(公正、透明性、説明責任、情報公開、情報管理)を中心にリスク管理、危機管理のあり方を説明。さらに、時代によって変化する「動く価値観」についての解説があった。

講師が特捜検察時代に手がけた事件や、最近話題になった大阪市職員の入れ墨などタイムリーな事例をとりあげながら、具体的な理論を展開した。

近年、大きなうねりの中で、企業危機と価値観は絶えず変化している。これからは「動く価値観」に沿って考えることの重要性を強調した。

さらに雪印乳業の事例をもとに、不祥事発生の問題点、形骸化しやすいルールや、問題が発生しやすい状況などについて解説。

良い企業であるためには、社内で神話化している手続きはないかチェックする必要があると指摘。また物を大切に「もったいない」という気持ちは大切だが、品質を見分けるきちんとした目を持つことが重要だと力説した。

第5回 CSRの理論や実践例など解説 小山 巖也氏

第5回は7月3日に「経営倫理とCSR」というテーマで小山巖也関東学院大学経済学部教授(日本経営倫理士協会理事)が行った。

講義では、①CSR(ガバナンス)など、世の中の背景事情の変化について説明した。

阿部執行役員は、メディア・トレーニンングを通して、クライシス時のメディア対応方法について説明。目線の位置、質問への対応法、話の流れの転換法、見聞の大切さなどを解説した。また、クライシス時の世論形成メカニズム、マスコミの追求の論理、記者会見の勘所などを説明し、メディア・トレーニンングの必要性を強調した。

次に、パワハラ防止の定義について解説した。①身体的な攻撃②精神的な攻撃③人間関係からの切り離し④過大な要求⑤過小な要求⑥個々の侵害などに加え、岡田康子氏が示すパワハラ防止の定義にも触れ、具体的な話へと展開していった。

「第16期経営倫理士講座」前期終了

第1回 経営倫理の基礎 経営価値四原理 高橋 浩夫氏 小林 俊治氏

第16期経営倫理士講座が5月15日から始まった。第1回は高橋浩夫日本経営倫理学会会長(白鴎大学大学院教授)の「経営倫理の基礎理論」と、小林俊治前日本経営倫理学会会長(早稲田大学名誉

教授)による「経営倫理学・経営価値四原理システム」についての講義が行われた。高橋講師は、経営倫理の基礎に加え、今、なぜ経営倫理が必要なのか。その理由について、企業と社会の関係、CSRに対する考え方の変化を例に挙げて解説。

小林講師はBERC創立者の故・水谷雅一氏の著書「経営倫理学

のすすめ」を用い、経営価値四原理システム(効率性・競争性・人間性・社会性)について説明した。

講義は、法律と倫理の違いについて他者危害防止の原則を例に挙げて説明。企業倫理とは、事業活動において守るべき道徳であり、法律面からみると他者危害防止の原則があてはまるといふ。

次に米国と日本に分け、企業行動と法の歴史を解説。さらに最近の法令・判例について、事例を挙げながら説明した。

第2回 法律面からみた 企業倫理の実践 辛島 睦氏

第2回講座は5月22日に「企業倫理の実践と法務」というテーマで辛島睦日本経営倫理士協会理事長が行った。

まとめとしてコンプライアンス経営と法務について説明、法務部門の役割、時流の変化

第3回 経営倫理と内部統制をテーマに 池田 耕一氏

第3回講座は5月29日に「経営倫理と内部統制」というテーマで池田耕一立命館大学大学院客員教授が行った。

講義は、①現代型企業不祥事の典型事例と特徴②現代型企業不祥事多発の根っこは何か③経営倫理の動的・多面的展開④経営倫理の取り組みポイント、の

順で行われた。グローバル化による社会の価値観の急激な変化、会社の内部告発における意識の変化、不祥事の多くは幹部に焦点があることを説明。生身の人間が運営しているのが会社、風通しのよい風土と仕組みをつくるのが重要だと強調した。

講義の最後には「経営倫理と内部統制」の取り組み事例として、パナソニックにおけるコンプライアンスを軸としたグローバル・グループの内部統制について解説した。

第6回 企業不祥事報道 マスコミ対応は 奥山 俊宏氏 阿部 哲夫氏

第6回は7月10日、奥山俊宏朝日新聞記者の「企業不祥事報道の視点と背景」についての講義と、阿部哲夫プリップ・ジャパン執行役員による「メディア・トレーニンング」が行われた。

奥山記者は、福島第一原発事故やオリンパスの損失隠し事件を事例に挙げ、企業不祥事報道の視点について解説。さらに、近年、嘘をつくことへの風当たりが激化し、誰への忠誠なのか、組織の統治

「パワハラ防止の定義」について説明。数年間まで企業の管理責任を問われるケースは少なかったが、現在、司法も行政もパワハラ問題に合わせて変化しているという。

次に、パワハラ防止の定義について解説した。①身体的な攻撃②精神的な攻撃③人間関係からの切り離し④過大な要求⑤過小な要求⑥個々の侵害などに加え、岡田康子氏が示すパワハラ防止の定義にも触れ、具体的な話へと展開していった。

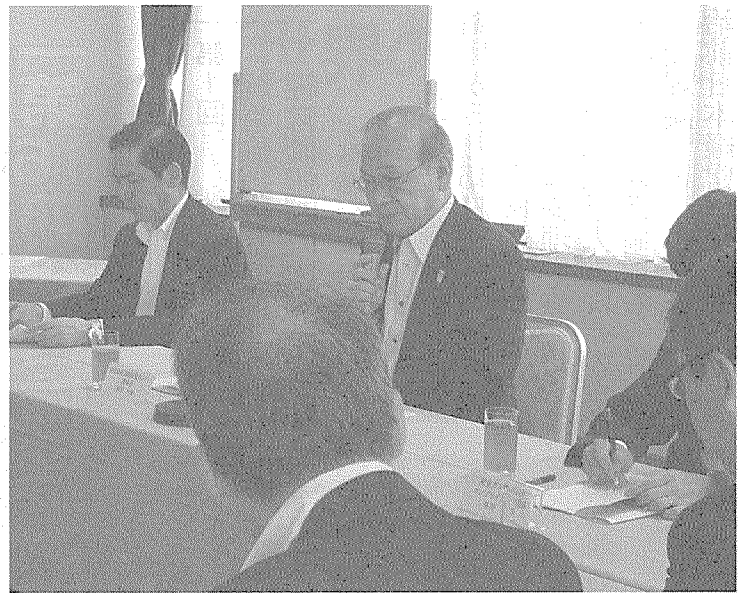
第7回 パワハラ防止の マネジメント 星野 邦夫氏

第7回は7月17日に



15周年を機にさらに充実を

BERCC 総会 12年度事業計画など承認



第3回社員総会で挨拶する鳥原光憲理事長＝弘済会館で

一般社団法人経営倫理実践研究センター(BERCC)の第3回社員総会が6月15日、千代田区の弘済会館会議室で開催された。

初めに鳥原光憲理事長が挨拶。「昨年、中期ビジョンを策定し「ECGR(Ethics Compliance Governance Risk Management)」を重視し価値ある企業の実現に貢献」など五つの方向性を打ち出した。これをもとに、創立15周年を迎える今年度、活動の一層の普及を図りたい」と述べた。

続いて、鳥原理事長を議長に選出。2011年度の事業報告と決算報告を審議。

事業概要を報告した松本邦明常務理事は、5月のBEO懇話会で、専門家による原子力発電に関する情報提供、7月には、従来型でなく(想定外)領域のBCPに焦点を置いた時局セミナーを開くなど、東日本大震災を中心とする活動を説明。

次に、12年度の事業

計画と収支予算を提案。ECGRを骨格としてさらなる活動充実を目指すことなどを説明した。

その後、三菱地所の西貝昇氏とトヨタ自動車の藤井孝司氏が総会後退任するため、補欠理事として三菱地所の駒田久氏とトヨタ自動車の峯澤幸久両氏が選任された。

最後は、定款の一部変更について。一つは、議決権の代理行使についても承認された。

以上は、第17条の変更など。

総会・研究発表大会を開催 CSRなど活発な論議

経営倫理学会

日本経営倫理学会の平成24年度年次総会と第20回研究発表大会が6月23日、明治大学で開かれた。研究発表大会は23、24日の2日間開催。

年次総会では、①平成23年度学会活動状況報告②平成23年度学会決算報告③監査報告



シンポジウムでは、「日本型経営倫理モデルとCSR」など、活発な議論が展開された

BERCC入会の御案内

経営倫理実践研究センター(BERCC)では、会員の入会申し込みを受け付けています。

BERCCは、我が国初の経営倫理の実践研究専門機関です。企業不祥事、不正の防止や企業の社会的責任を果たすため、理念普及、教育研修のノウハウ提供、実践活動研究グループへの参加、会員社間の交流と情報交換など幅広い活動を進めています。

▽年会費50万円

▽入会時に「経営倫理担当最高責任者」(BEO)を登録していただきます。

申し込み・問い合わせは 経営倫理実践研究センター事務局へ。

電話 03(3221)1477

FAX 03(3221)1478

研究発表大会の統一テーマは「経営の質・倫理とCSR」。第一日目は4つの会場に分かれての講演や報告、発表など。午前と午後2部を合わせて20ものプログラムが開催された。

「効果的な日本型経営倫理モデル」経営の質・倫理とCSRからの考察」と題した統一論題シンポジウムも開かれた。同シンポジウムでは日本経営倫理学会・高橋浩夫会長(白

午後の部では、3つの会場に分かれてのワークショップが再度開かれるなど、多岐に渡るテーマが盛り込まれた研究発表大会となった。

「薬立つ」 「くすり」の話

①

患部に腫れや熱感・赤みといった炎症がみられるときやケガの直後のような急性期の症状には「冷シップ」、

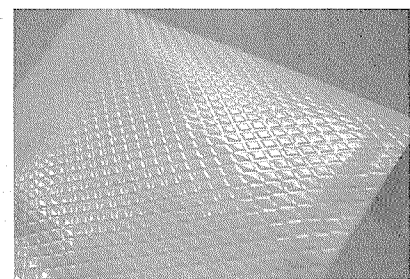
血行不良によるコリや筋肉の張り・こわばりのような慢性期の症状には「温シップ」を選択するものと考えられ

「冷シップ」と「温シップ」 どっちがいいの？

てきました。ところが、最近では冷温選択の最大の決め手は、自分が「気持ちよい」と感じられること。だという意見が有力です。これは「痛覚」神経を伝わる痛みよりも、「感覚」

神経を伝わる心地よさの方が早く脳に到達するため、痛みを感じにくくさせるという理由によります。

実は、「冷シップ」にも「温シップ」にも似たような鎮痛成分が



「温」と「冷」…あなたはどちら？

を出しているだけです。から、たとえば「私は肩こりだから」と好きではない「温シップ」を無理して使う必要はないのです。

では、自分の症状にあったシップを選ぶ簡単な方法をご紹介します。入浴時に患部の痛みが強まるような「冷シップ」を、和らぐようなら「温シップ」がオススメです。患部を温めても特に違いがなければ、夏場は「冷シップ」を、冬場は「温シップ」を季節に合わせて選ぶという方法も。また、かぶれにくい、ベタつかない、目立たない、臭わない、剥がれにくいといった理由から、鎮痛成分のみが入って冷温が感じられないプラスチック剤を好まれる方も多くなっています。心地よさ、患部の場所、体質、好み等々から、もっとも自分にあつた貼り薬を選びましょう。

川村和美
(薬学博士、経営倫理士)

BERCC 研究活動

経営倫理実践研究センター(BERCC)では、会員企業向けに経営倫理、コンプライアンス、CSRに関する幅広い研究活動に取り組んでいる。

「部会」「研究会」「自主研」「研修会」の4グループ編成で今回これらの研究活動に、非会員企業の方々に参加を呼びかけて

「ケース」「パワーハラ」「メント」「監査」「CSR戦略」など15ジャンルが対象。最近は、企業の大型不祥事が続いたため、コピーポ

業のCSR、コンプライアンスなど、関連部署に所属する方々の体験受講をお待ちしています。

経営倫理実践研究センタートライアル受講係に申し込む。

TEL 03(3221)1477

MAIL office@bercc.jp

無料。いわば体験参加型のトライアル受講で、

変わらぬ金もうけ主義 「増資インサイダー」次々発覚

証券業界が、またまた不祥事に揺れている。最大手の野村ホールディングス(HD)をはじめ大手証券各社がこぞ、公募増資に関する公表前の情報を漏えいさせていたことが明らかになったのだ。

野村HDは6月末、社内調査結果を発表。子会社の野村証券内で、増資情報を持つ部門と機関投資家営業部の接点となる部署の社員が「橋渡し」をするなどして、情報が恒常的に営業担当者

二ズウォール(万里の長城)と呼ばれる「情報遮断する壁」も設け、情報漏れがないよう厳しく管理しているはずだった。

証券業界は、1990年代のはじめに「株取引に伴う損失補てん問題」で、また90年代後半には「総会屋に対する利益供与事件」により経営トップが引責辞任に追い込まれるなど、不祥事にまみれた。その反省からコンプライアンス(法令順守)の徹底・強化を図ったはずだが、「収益達成のためには手段を選ばない営業姿勢」は変わっていない。このため情報を守りながら、空売りなどで利益をあげられる。一方で何もない一般株主は、株価下落で損失を被ることが多い。証券会社は企業から増資業務を引き受けるシンジケート部と、株式の売買を投資家に勧誘する法人営業部との間にチャイ

な認識が広がる。日本証券業協会の前哲夫会長は、一連の問題の背景に経営者の倫理観や規範意識の不足がある」と指摘し「業界の常識が、世間の常識とずれることがあり、十分に反省してほしい」と述べた。松下忠洋金融担当相は金融審議会に対し、再発防止策や規制強化の在り方を議論するよう諮問。報告書の取りまとめを待って、来年の通常国会に関連法案の提出を目指す考えを示した。

「悪魔も聖書を引き合いに出す」(シエイクスピア「ヴェニスの商人」)とは言い得て妙。聖書ならぬ経営倫理の順守を唱えながら、裏で倫理に反する悪行の数々を重ねている「一流企業」がなんと多いことか。

潮流

再犯とあつて、救いようがない。野村証券にいたってインサイダー取引を繰り返すだけでなく、系列会社による暴力団への融資や大口法人投資家に対する巨額の損失を「悪党の作り笑い」といつている。

一方で、経営倫理に忠実で、社会貢献活動にも熱心に取り組む企業が増えている。東日本大震災後、物心両面で被災地を支援する企業が日経平均株価の算出対象企業の9割以上に達したとの研究報告もある。

多くの人が真贋を見分けられる目をもつてこそ企業社会は健全になるのだ。(小山博之)

広報力

その軌跡をたどる

<5>

昨年3月の東京電力福島第一原発事故について、政府の原子力災害対策本部で議事録が残されていなかった問題で、この1月、政府が国会で執拗な追及を受けていたことは、まだ記憶に新しい。

「議事録」：大切な財産

目立つ情報保存の重要性

我々民間企業でも会議をやれば必ず、議事録なり議事概要が残される。ましてや取引関係先と会議/打ち合わせをやれば、必ずといっていいほど、会議

しておけば、相手側と理解を共有、重要事項が確認され、次の会議の際、検討内容をだぶらせずに行うことができる。問題が発覚した時の判断材料になるべき性質のものという指摘もある。

特に冒頭で書いたような政府の会議などでは、「公文書管理法」が2011年4月に施行され、議事録(概要)の作成から保存、管理、廃棄までが法で義務づけられる。情報にテレビやインターネットが普及し、文書類の吸収が極端に減ってきた。したがって「書く」という作業も非常に減っている。しかし、ビジネスマンにとって議事録をまと

めたり、メモを取るということは社会人の第一歩ともいえる。しかも社員教育としてもコミュニケーション能力、まとめ能力、理解する能力、文章能力

走行距離 400キロに制限

ツアーバス事故で緊急対策 国交省

7人が死亡、39人が重傷を負った群馬県の越後自動車道での高速ツアーバス事故(4月29日発生)を受け、国土交通省は「過労運転防止に係る緊急対策」を取りまとめ、7月から運用を開始した。今回の事故を受けて同省が全国のバス運転手を対象に行ったアンケートでは、夜間に1人で500キロを超えても安全運転できるとの回答は1割にも満たなかった。同省の指針が、いかに現場の安全感覚とかけ離れていたかが

明らかになった。これを受けて打ち出された同省の緊急対策は、運転手1人当たりの走行距離上限を従来の最大670キロから原則400キロに制限し、違反した場合は警告や車両の使用停止などの行政処分を科すことが柱。高速ツアーバスは旅行会社が乗客を募集し、貸し切りバスをチャーターして運行するもので、12年前に始まった規制緩和で自由化された。格安料金を武器に快進撃を続け、年間乗客数は2004年の約2万3000人から、10年には約600万人に激増した。また、バス会社の数はこの10年余りで2倍に増えたが、過当競争で1台当たりの営業収入は3割近く減少しているという。

多くのバス会社は利益が減った分、運転手の労働条件を下げ、安全のためのコストを削らざるを得ない状況に追い込まれている。今回の事故では、バス会社「陸援隊」が運転手を法律で禁止されている日雇い形態で雇用

「世界の子ども絵画展」 自然や環境いきいき描く 15年続く社会貢献活動



「第15回荏原グループ世界の子ども環境絵画展」が、8月23日から26日まで銀座アートホール（東京・銀座）で開催される。同絵画展は、株式会社荏原製作所の主催で、世界各地の荏原グループ従業員の子もたちが自然や環境をテーマに描いた作品が展示されるもので、荏原グループの社会貢献活動として1998年から開催してきた。今年で15回目を迎えた。

同絵画展に併せて8月22日には「日比谷公園自然かんさつ会&アートプログラム」、25日には「ネイチャーゲーム&竹細工教室」の環境教育プログラムのイベントも実施される。絵画展に出展された子どもたちの作品は、山林や草原など緑豊かな風景のスケッチや、海底の魚やタコなどを描いたもの、また水辺で遊ぶスワンを背景に虹が描かれた作品など、子どもの視点で生き生きと地球環境について描かれている。荏原グループでは、「絵画を通じて世界各地に地球を愛するメッセージを受け止めてほしい」と話している。

銀座アートホールでの絵画展の前後には、本社（東京都）、富士事業所（千葉県）、藤沢事業所（神奈川県）でも社内絵画展を開いている。8月7日から開催されている富士事業所では、昼休みなどに従業員が作品を熱心に鑑賞していた。写真。絵画展には、大田区立久原小学校など5校の小学校がオブジェの創作展示に協力している。



寄贈作品の前で、箔の経年変化の再現の難しさを解説する箔工芸作家・裕人礫翔（ひろと・らくしょう）氏

高精細複製品を寄贈 文化財保存に技術生かす

キャノン（株）とNPO法人京都文化協会が取り組んでいる社会貢献活動「継承プロジェクト（文化財未来継承プロジェクト）」で、高精細複製品が東京都美術館へ寄贈され、5月30日に寄贈式が行われた。

今回、送られた作品は、米フリーア美術館所蔵の「伝徳屋宗達「桜図屏風」と尾形光琳「群鶴図屏風」の高精細複製品。

2007年に始まった形式で行われています。ここで教鞭をとる教師は塾の流失などで職を失った講師を雇用し、年齢の近い大学生なども一部ボランティアで教えるなどしながら運営されています。震災で遅れた子どもたちの学習時間を取り戻すとともに、職を失った講師の方々の雇用を再生することもできるといふ、非常によく設計

読んでら 老けないコラム

今回は「セクシユアリティ」、異性を愛する、あるいは男性性や女性性と老化の関係をみていきたいと思います。

セクシユアリティとは、ご承知の通り単にセックスだけではなく、性的な絆やスキンシップはもちろんです、男性であるか、女性であるかに関わるすべてのことを意味します。

今回は「セクシユアリティ」と老いの関係は？といえ、個人差はありますが、恋愛感情や性衝動が加齢で枯れるというのは誤りです。

古くから老いらくの恋は文学の永遠のテーマですが、最近では閉経した女性が韓流スターに熱を上げ、生理が戻ってきたという報告もありました。「愛は生命の花である」と言うように、ホルモンや代謝にも影響を及ぼすこうした感情効果は、女性に限らず男性にとつても、「晩年、再婚したら若返った」など

に印刷している。京都西陣の「箔」伝統工芸の技により経年変化も限りなく忠実に再現している。

毎年、2つのテーマ①海外に渡った日本の文化財②小・中学校の教科書に掲載が多いた

2007年から今回までに合計24作品を複製、美術館や博物館、作品に縁のある寺院などに寄贈してきた。

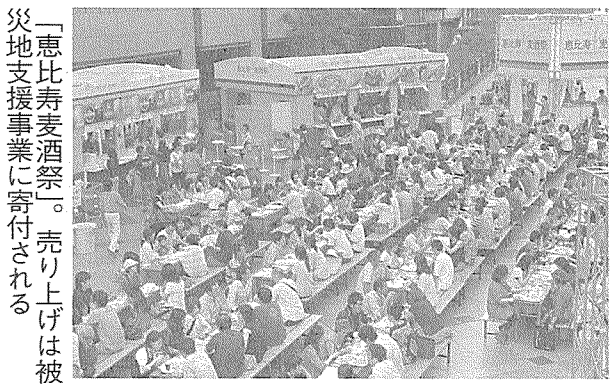
（陶）

今回の報告もありませんが、女性の多くは65歳くらいから性的刺激に反応しにくくなるといわれます。恋愛セックスにあらず。特に高齢期の夫婦間では、互いのセクシユアリティへの理解と関係再構築が不可欠です。まさに「セックスは行為に過ぎないが、セクシユアリティは生き方そのもの」という所以です。

さらにセクシユアリティは突き詰めると、アイデンティティ「自分分はだれか」ということにも通じます。たとえば認知症の女性に化粧をしようと問題行動が減少します。それは化粧によって、「私は女性」という根源的なアイデンティティをかきたてられたからです。認知症の男性が、背広を着るとシヤンとするのも同じです。

40歳からのAge-less

ワンポイント④
セクシユアリティ



「恵比寿麦酒祭」。売り上げは被災地支援事業に寄付される

社会貢献活動の現場から

サッポロ

東日本大震災における企業による被災者支援活動の特徴の一つとして「恵比寿麦酒（ビール）祭」を秋に開催し、支援方法の多様性を挙げることであります。

今回は、この多様性の一つの事例として、東京の恵比寿に本社を持つサッポロホールディングス（以下、サッポロ）が行っている被災地支援活動について見てみたいと思います。

サッポロでは、

2009年から本社のある恵比寿の地域の方々への感謝を込めて「恵比寿麦酒（ビール）祭」を秋に開催しています。地域コミュニティとの共生のため、企業が行うアクションの一つとしてメジャーなものです。

同社ではこのイベントでのビール売り上げ

地域との共生へ「麦酒祭」 売り上げは大震災被災地に

この事業は、震災で教育の機会を奪われた子どもたちに学びの場を提供するため、放課後の学校を活用して塾

形式で行われています。ここで教鞭をとる教師は塾の流失などで職を失った講師を雇用し、年齢の近い大学生なども一部ボランティアで教えるなどしながら運営されています。震災で遅れた子どもたちの学習時間を取り戻すとともに、職を失った講師の方々の雇用を再生することもできるといふ、非常によく設計

された支援事業です。コーポレートコミュニケーション部門の大森克弘氏が「本社のある恵比寿の地域の方々と一緒に被災地を支援したい」と語られるように、「麦酒祭」の売り上げを寄付することとは、地域と一緒になって被災地支援活動を実施するということであり、社会との共生を生むための取り組みとして素晴らしいだけでなく、会社イメージアップにもなるもので見習うべき点が多々ある取り組みといえます。

（町井 則雄）

幾つになってもおしゃやれや身だしなみを整え、異性への関心や思い遣いを忘れないこと。自分と相手のセクシユアリティを大切にすることは、男女共に若さ維持の大きなファクターです。

医療・福祉ジャーナリスト
おちとよこ

幾つになってもおしゃやれや身だしなみを整え、異性への関心や思い遣いを忘れないこと。自分と相手のセクシユアリティを大切にすることは、男女共に若さ維持の大きなファクターです。

医療・福祉ジャーナリスト
おちとよこ

中国の受託工場で騒乱

アップル問われる経営倫理

米アップルの携帯端末「iPad(アイパッド)」の製造を受託している中国の工場で、労働争議が発生している。同工場では、労働環境の悪さが以前から指摘されている。IT時代をリードしてきたアップルのビジネスモデルが労働者の犠牲の上に成り立っているとしたら、経営の見直しを迫られる可能性がある。

アップル調査のため、宿舎の保安員が従業員の部屋に立ち入ると、小競り合いになった。周囲の従業員が騒ぎに加わり、宿舎の設備などを破壊した。最後は警察が介入して騒ぎを収めたという。

一方、アップルは米公正労働協会(FLA)に委託して労働状況を調査。長時間労働や賃金未払いなどの改善に取り組み姿勢を示しているが、労働者側からは「全く改善していない」との声があがっている。

ブズ氏のもとで新市場を切り開いてきたアップル。ジョブズ氏の経営者としての実績には目を見張るものがあるが、競争力を支えてきたのは中国人の労働者たちだ。その労働者たちが不満を持ち、反旗を翻し始めた事実が極めて重い。

平成25年4月から民間企業における障害者の法定雇用率が従来より1.8%から2.0%に引き上げられる。さらに法定雇用率制度の対象企業が「従業員数56人以上」から「50人以上」に改められる。

騒乱が起きたのは台湾のEMS(電子機器の受託製造サービス)鴻海精密工業の中国子会社の成都工場。6月4日夜、飲食店でのト

印刷所で胆管がんで多発

5都府県 洗剤化学物質が原因か

騒乱が起きたのは台湾のEMS(電子機器の受託製造サービス)鴻海精密工業の中国子会社の成都工場。6月4日夜、飲食店でのト

5都府県の印刷事業所5カ所で、従業員ら18人が相次ぎ胆管がんを発症し、分かっていて9人が死亡している。印刷機洗浄用の有機溶剤に含まれる化学物質「1,2-ジクロロプロパン」などを、従業員らが大量に吸い込んだことなどが原因ではないかとみられている。

確認された発症者は、大阪府13人、宮城県2人、ほかに東京都、石川県、静岡県の各1カ所で従業員各1人、死亡は大阪7人、東京と石川の従業員各1人。

厚生労働省は、全国の印刷所約1万7千カ所のうち、561カ所を対象に緊急の抽出調査を行った。561カ所は、洗剤を多く使っているか、規模の大きい事業所、

企業不祥事等の概要 (2012年5月～7月) (禁無断転載)

日本テレビ	5月2日	同社の報道番組「news every.」で放送した特集「食と放射能 水道水は今」で、取材した飲料水販売会社の利用者として紹介された女性が、一般の利用者ではなく、その飲料水販売会社経営者の親族だったと明らかにした。
ツイッター社	5月8日	利用者のユーザー名、パスワード、メールアドレスとされる情報約5万5000件がインターネット上に流出したことが分かった。
スタジオ・イースター	5月17日	人気アニメ「名探偵コナン」などの背景画を手がける同社の社員3人が残業代の未払いがあったとして、同社に対し、約2700万円の支払いを求め東京地検に提訴していたことが分かった。
スカイマーク	5月22日	着陸時に必要な高度より低く飛行したり、操縦士に超過勤務をさせるなど、安全上支障のある事態が6件あるとして、国土交通省は同社を厳重注意した。
内閣府原子力委員会	5月24日	これからの核燃料サイクル政策について議論していた同委員会が、結論部分の総合評価を電力会社など推進側に有利になるように書き換えていたことが分かった。
陸援隊	5月28日	群馬県の関越自動車道で46人が死亡した高速バス事故に関連し、群馬県警は、運転手に名義を貸してバスを無許可運行させていたとして、道路運送法違反(名義貸し)の疑いで同社社長(55)を逮捕した。
日本経済新聞社	5月31日	同社クロスメディア営業部の部長が社内規定に違反し、株取引を繰り返していたとして、5月15日付で論旨退職処分を受けていたことが分かった。
レンゴーなど	6月5日	段ボールの販売をめぐる、価格カルテルを結んでいた疑いが強まったとして、公正取引委員会は独禁法違反(不当な取引制限)の疑いで、製造業者数十社の事業所約40カ所を立ち入り検査した。
日本精工など	6月14日	自動車や産業機械などの部品に使われるベアリングの販売に関し、価格カルテルを結んでいた疑いで、公正取引委員会が刑事告発した。この事件における市場規模は4000億円に上るとされる。
名古屋市	6月18日	計11カ所の下水道工事で、土壌検査を実施する際に現場とは異なる場所のデータを使っていたことがわかった。
時事通信社	6月18日	ワシントン支局の記者が13日共同通信社の配信記事をコピーして自社の原稿に貼り付け、「ワシントン共同」を残したまま配信した件で、社長(64)が責任を取って6月30日付けで退任する人事を内定した。
経済産業省原子力安全・保安院	6月18日	東京電力福島第一原子力発電所の事故直後に、米国から実際の測定に基づく詳細な「汚染地図」を提供されていたにも関わらず、このデータを公表せず、住民の避難にも活用しなかったことで、山本哲也主席統括安全審査官が記者会見で謝罪。
AIJ 投資顧問	6月19日	同社による年金資産消失事件で警視庁は、投資一任契約を結んでいた2つの年金基金に虚偽の運用実績を示し計約70億円をだまし取った詐欺の疑いで、社長ら4人を逮捕した。
大藤屋燃料	6月21日	横浜市の船舶燃料輸送・販売業の同社が、船のタンクなどに余った重油を架空の会社から仕入れたように偽装し約3億6千万円の法人所得を隠したとして、東京国税局が同社と経営者を法人税法違反容疑で横浜地検に告発したことが分かった。
NEC	6月25日	東京国税局の税務調査を受け、2010年3月期までの3年間で100億円超の所得隠しを指摘されていたことが分かった。
日興コーディアル証券	6月26日	株式の公開買付け(TOB)を巡りインサイダー取引をしたとして、横浜地検特別刑事部は、同社の前執行役員(50)ら計4人を金融商品取引法違反容疑で逮捕した。
ファーストサーバ	6月26日	20日に行ったサーバーの保守作業の際、顧客から預かっていたホームページやメールのデータをバックアップ分も含め消失させた件で、消失した顧客数が5698件に上り、データ復旧も不可能であることが分かった。
オリンパス	7月4日	東京国税局の税務調査で、損失穴埋めのために充てた費用を経費と認められず、2011年3月期までの5年間で約150億円の申告漏れを指摘されていたことが分かった。
ユニバーサルミュージック合同会社	7月17日	法人税率の低い海外に所得を移す「組織回避」を行ったとして、東京国税局の税務調査を受け10年12月期までの3年間で80億円超の申告漏れを指摘されていたことが分かった。
三オボックス	7月17日	DVDのコピー防止機能を無効化するソフトを販売したなどとして、警視庁は、不正競争防止法違反(誤差目的展示・誤差)の疑いで、「ラジオリブ」などを出版する同社の取締役(43)ら4人を逮捕した。
伊藤忠食品など	7月20日	スーパー大手のイオンに原価よりも著しく安い値段でビール類を卸売していたとして、公正取引委員会が酒の卸売大手の3社に独禁法違反(不当廉売)の疑いで警告する方針を固めたことが分かった。
長野県警	7月21日	車両使用者の個人情報を県警OBの探偵業者に漏らしたとして、愛知県警は、長野県警の警察官2人を逮捕した。
ビルドアップ	7月21日	東京電力が発注した福島第一原発の復旧工事で、下請け会社である同社役員が昨年12月、厚さ数ミリの鉛のカバーで放射線の線量計を覆うよう作業員に指示していたことが分かった。
野村証券	7月31日	公表前の「増資」情報を不正に入手して、顧客に伝えていたとして、証券取引等監視委員会は金融商品取引法違反にあたると判断し金融庁に勧告、金融庁は業務改善命令を出す方針。

(主要日刊紙からBERC ニュースまとめ)

ニュースの断面

率1.65%、法定雇用率達成企業の割合は45.3%になっている。しかしこの統計から「障害者雇用が進んでいる」と安易に判断することはできない。それは、(1)17年度までと18年度以降、23年度以降と、年々統計対象である障害者のカテゴリーを拡大し、障害者の母数を増やしていること、(2)平成23年

進まぬ障害者の採用 法定雇用率引き上げへ

改革推進会議総合福祉部会(第15回)では、「常用労働者数5人以上規模の事業所の平成20年度の障害者雇用数は約44万8千人。15年に比べ5万人減少している」と指摘されて

が、企業が障害者を受け入れる場合、職場の安全性や設備機器の改善、障害者に適した業務の選定、他の従業員の障害への理解などが必要だ。さらに障害者の働き方についても配慮しなければならぬ。健康者でも辛いと感じるラッシュアワに障害者を通勤させることは、障害の程度等にもよるが現実的に不可能だろう。柔軟性のある勤務形態を作る必要がある。

厚生労働省が同事業所で再現実験をした結果、「1,2-ジクロロプロパン」の吸気中の濃度は、米国で示されている平均許容濃度の最大20倍、「ジクロロメタン」は最大7.2倍に達していた。(八)

平成25年4月から民間企業における障害者の法定雇用率が従来より1.8%から2.0%に引き上げられる。さらに法定雇用率制度の対象企業が「従業員数56人以上」から「50人以上」に改められる。

厚生労働省が発表した「23年障害者雇用状況の集計結果」によれば、民間企業の雇用障害者数は36万6199人と過去最高。実雇用率1.65%、法定雇用率達成企業の割合は45.3%になっている。

平成25年4月から民間企業における障害者の法定雇用率が従来より1.8%から2.0%に引き上げられる。さらに法定雇用率制度の対象企業が「従業員数56人以上」から「50人以上」に改められる。

経営倫理実践研究センター(BERC)の前理事長、福原義春氏が退任した。初代理事長として、BERCの発展に貢献した。在任14年間を振り返って、その思いを語った。今回は最終回。(聞き手、千賀瑛)

経営倫理実践研究センター(BERC)の14年

2005年9月30日から2日間、神奈川県葉山町の湘南国際村で経営倫理とCSRをテーマに「湘南セミナー2005」を開催した。私の理事長在任中、最大のイベントと言える。

湘南国際村は葉山町と横須賀市をまたぐ丘陵地で進められた開発プロジェクト。国際的な研究機関などの本部があ

経緯はどうあれ、既に施設はできているのだから、利用を促さなければいけない。私は自分の関わる団体や活動を通じ、国際村の利用を促すよう努めた。

BERCには県も関心が高く「ぜひ」との要望を受けた。事務局では当初、この会場を使って平日に開催する意向だった。私が提案して、宿泊施設も利用して週末に1泊2日で行うことに。初日は基調講演、シンポジウムと四つの分科会、2日目はまとめ、と

このプログラムの組んだ。事前の評判はよく、大手企業のCEOも顔をみせてくれた。基調講演はフランスのCSRヨーロップ事務理事、バーナード・ジロッド氏の「ヨーロップにおけるCSRの現状と課題」に接した。そこでアメリカ型に疑問を持ち、ヨーロップ型の支持者となった。その私でさえ、ジロッド氏の主張は過激に感じられた。一方、パネリストを務める日本の経営者は、もともとアメリカ的な考え方の影響が強いので、シンポジウムでは明らかに对立することになった。

市民寄りのCSRを議論
湘南国際村で宿泊セミナー

回顧随想・福原義春
「経営の心」を想う

⑤

り、会議や研修、宿泊施設も整備されている。逗子市のわが家に近く、計画を知った当初は環境破壊を懸念した。しかしその住民は交通の便が悪く苦勞していると分かり、見守ることにした。

1994年に中核施設がオープンしたものの、バブルがはじけ、分譲地の販売が進まない。追い打ちをかけるように、推進した長洲一二県知事が亡くなる。知事は村のソフト部門を担うかながわ学術研究交流財団(現・かながわ国際交流財団)の理事長を務められていて、後任を私が受けることになった。



湘南セミナー2005のメイン・イベント、BERC経営倫理シンポジウムで。右から2人目が筆者

△ひとこと(旅行)
これまでの旅行で一番魅了されたところはインドネシア・バリ島のウブド。最初に行ったのは1996年。朝、鳥の声を聴くうち、全宇宙が私の体を満たすような不思議な感覚を味わい、世の中に目に見えないものの存在があるのを確信した。

事前にジロッド氏のことをもっとよく知っていたら、何か策を打てたのに、と後悔した。私はどちらの考え方にも理があることを説く、という「中和」の発言を心掛けた。会場はほぼ満席だった。しかし、CSRという概念がまだ十分広がっていない頃で、客席の反応は静かだった。あれから7年たち、CSRに対する日本の経営者の認識はかなり深まった。今、ジロッド氏を招いたら、活発な議論が展開されるのではないかと、そういう意味でも、湘南セミナーを思い出すと感慨深いものがある。

資生堂名誉会長。1931年、東京生まれ。53年、慶應義塾大学経済学部卒業と同時に資生堂入社、取締役外資部長などを経て87年社長、97年会長、2001年から現職。BERC設立時から11年6月まで理事長。文部科学省参与、東京都写真美術館長など公職多数。多読家、洋蘭栽培の趣味でも有名。

ふくはら・よしはる
資生堂名誉会長。1931年、東京生まれ。53年、慶應義塾大学経済学部卒業と同時に資生堂入社、取締役外資部長などを経て87年社長、97年会長、2001年から現職。BERC設立時から11年6月まで理事長。文部科学省参与、東京都写真美術館長など公職多数。多読家、洋蘭栽培の趣味でも有名。

地球交差点

取材メモに残ることなど...

< 25 >

モンゴル草原に温泉——といっても、あまりピンとこないのではないだろうか。いまでは、横綱白鵬らお相撲さんの「供給国」として子どもにもよく知られる遊牧民の国・モンゴルだが、かつては「モンゴル族の英雄」チンギス・ハーンらによって、中央アジア

モンゴルの温泉療養所

「隠し湯」伝説も



泉だ。モンゴルを訪ねた1998年当時、7か所に温泉があった。その一つが、ホジルト・サナトリウム(療養所)だ。4百年前、草原で歩いて歩き始めた。近くには、猟師の名前を冠したシヨンフライ山があり、鹿の像も建っている。サナトリウムの話では、1970年代に1200メートルまでボーリングした。源泉の温度は、52度、57度あり、医師4人と職員80人で切り盛りしていた。

モンゴル草原にある温泉を利用したサナトリウム(療養所)は1998年、モンゴル・ホジルトで

サナトリウムは、首都ウランバートルから西南に400キロ、人口8000の村の草原の一角にある。交通手段と

憲氏の新旧理事長による特別対談がある。福原前理事長は、発足以来14年間を担当。引き継いだ鳥原氏は、その後の1年を担当している。対談では、創立時の御苦労話からその後の実践研究活動の幅広い展開などに触れている。また、東日本大震災、原発事故に関する調査・研究活動にも言及。さらに経営トップが関与する不祥事が相次いだという状況の中で、グローバルな視

この温泉から48キロ北へ行くと、13世紀のモンゴル帝国の都ハラホリン(別名・カラコルム)があり、そのころ、温泉で体をいやしたあと、ハラホリンを見学して帰るルートもあった。当時のウランバートルでは、NHKの朝のテレビ番組「おしん」(83年)が、3本まとめて、週2回放映されたこともあり、「おしん」という言葉が飛び交っていたのが、印象的だった。モンゴルでも、携帯電話が普及し始める時でもあった。(ジャーナリスト・松村崇夫)

経営倫理実践研究センター(BERC)の前理事長、福原義春氏が退任した。初代理事長として、BERCの発展に貢献した。在任14年間を振り返って、その思いを語った。今回は最終回。(聞き手、千賀瑛)

経営倫理実践研究センター(BERC)の14年

2005年9月30日から2日間にわたり、神奈川県葉山町の湘南国際村で経営倫理とCSRをテーマに「湘南セミナー2005」を開催した。私の理事長在任中、最大のイベントと言える。

湘南国際村は葉山町と横須賀市をまたぐ丘陵地で進められた開発プロジェクト。国際的な研究機関などの本部がある。BERCには県も関心が高く「ぜひ」との要望を受けた。事務局では当初、この会場を使って平日に開催する意向だった。私が提案して、宿泊施設も利用して週末に1泊2日で行うことに。初日は基調講演、シンポジウムと四つの分科会、2日目はまとめ、と

回顧随想・福原義春 「経営の心」を想う

⑤

り、会議や研修、宿泊施設も整備されている。逗子市のわが家に近く、計画を知った当初は環境破壊を懸念した。しかしその住民は交通の便が悪く苦勞していると分かり、見守ることにした。

1994年に中核施設がオープンしたものの、バブルがはじけ、分譲地の販売が進まない。追い打ちをかけるように、推進した長洲一二県知事が亡くなる。知事は村のソフト部門を担うかながわ学術研究交流財団(現・かながわ国際交流財団)の理事長を務められていて、後任を私が受けることになった。

2005

湘南国際村センター



湘南セミナー2005のメイン・イベント、BERC経営倫理シンポジウムで。右から2人目が筆者

市民寄りのCSRを議論

湘南国際村で宿泊セミナー

経緯はどうあれ、既に施設はできているのだから、利用を促さなければいけない。私は自分の関わる団体や活動を通じて、国際村の利用を促すよう努めた。

BERCには県も関心が高く「ぜひ」との要望を受けた。事務局では当初、この会場を使って平日に開催する意向だった。私が提案して、宿泊施設も利用して週末に1泊2日で行うことに。初日は基調講演、シンポジウムと四つの分科会、2日目はまとめ、と

「中和」の発言を心掛けた。会場はほぼ満席だった。しかし、CSRという概念がまだ十分広がっていない頃で、客席の反応は静かだった。あれから7年たち、CSRに対する日本の経営者の認識はかなり深まった。今、シロド氏を招いたら、活発な議論が展開されるのではないかと。そういう意味でも、湘南セミナーを思い出すと感慨深いものがある。

ふくはら・よしほる

資生堂名誉会長。1931年、東京生まれ。53年、慶應義塾大学経済学部卒業と同時に資生堂入社、取締役役外部長などを経て87年社長、97年会長、2001年から現職。BERC設立時から11年6月まで理事長。文部科学省参与、東京都写真美術館長など公職多数。多読家、洋蘭栽培の趣味でも有名。

事前にシロド氏のことをもつとよく知っていたら、何か策を打てたのに、と後悔した。私はどちらの考え方にも理があることを説く、という「中和」の発言を心掛けた。会場はほぼ満席だった。しかし、CSRという概念がまだ十分広がっていない頃で、客席の反応は静かだった。あれから7年たち、CSRに対する日本の経営者の認識はかなり深まった。今、シロド氏を招いたら、活発な議論が展開されるのではないかと。そういう意味でも、湘南セミナーを思い出すと感慨深いものがある。

◇今秋発行予定の『経営倫理』68号では、福原義春氏、鳥原光

◇今秋発行予定の『経営倫理』68号では、福原義春氏、鳥原光

◇今秋発行予定の『経営倫理』68号では、福原義春氏、鳥原光

地球交差点

取材メモに残ることなど...

< 25 >

モンゴルの温泉療養所



「隠し湯」伝説も

モンゴル草原にある温泉を利用したサナトリウム(療養所) 1998年、モンゴル・ホジルトで

泉だ。モンゴルを訪ねた1998年当時、7か所に温泉があった。その一つが、ホジルト・サナトリウム(療養所)だ。

いけば車しかなく、長時間、草原の道をひたすら揺られた。日本の「隠し湯」伝説に似た物語がある。4百年前、草原で獵

て歩き始めた...。近くには、獵師の名前を冠したシヨンフライ山があり、鹿の像も建っている。

サナトリウムの話では、1970年代に120歳までボーリングした。源泉の温度は、52度、57度あり、医師4人と職員80人で切り盛りしていた。

このサナトリウムの特徴は、温泉近くの熱い土を体に塗る「温熱療法」で、関節炎や皮膚病、不眠症、婦人病などで悩む人たちが利用していた。

この温泉から48キロ北へ行くと、13世紀のモンゴル帝国の都ハラホリン(別名:カラコルム)があり、そのころ、温泉で体をいやしたあと、ハラホリンを見学して帰るルートもあった。

当時のウランバートルでは、NHKの朝のテレビ番組「おしん」(83年)が、3本まとめて、週2回放映されたこともあり、「おしん」という言葉が飛び交っていたのが、印象的だった。

モンゴルでも、携帯電話が普及し始める時でもあった。

(ジャーナリスト・松村崇夫)

憲氏の新旧理事長による特別対談がある。福原前理事長は、発足以来14年間を担った。引き継いだ鳥原氏は、その後の1年を担っている。対談では、創立時の御苦労話からその後の実践研究活動の幅広い展開などに触れている。また、東日本大震災、原発事故に関する調査・研究活動にも言及。さらに経営トップが関与する不祥事が相次いだという状況の中で、グローバルな視点を持ち、社会の公器としての役割が一層強く求められていることなどが強調されている。踏み込んだ対談となった。また、11月には特別記念シンポジウムの開催が予定されており、期待している。

◇10月は、企業倫理月間。経団連加盟企業を中心に、各企業内で経営倫理の教宣浸透に取り組み。今回は、東電、オリンパス、大王製紙など大型企業不祥事が